



New Arrival

新着案内

早稲田大阪学園・図書館

http://www.waseda-setsuryo.ed.jp

No.106 2020/2/10

今年度の図書・雑誌の購入は終了いたしました。
次回の購入は新学期です。
リクエストは随時受付けてます！



●1類 (哲学・心理学・宗教)

『自分をコントロールする力 非認知スキルの心理学』

森口佑介/講談社現代新書

人生の成功を左右する「非認知スキル」。そのなかでも重要な「自分をコントロールする力(実行機能)」は、どのように身につく、どんなときに働かなくなるのか。発達心理学の最新知見から、その育て方・鍛え方を公開する。

143

モ

●2類 (歴史・土地の様子)

『海の地政学 覇権をめぐる400年史』 竹田いさみ/中公新書

航路や資源、国際的な法制度など多様な論点から、400年に及ぶ海をめぐる激動の歴史を描き出した書。各国の思惑が交錯し、形作られてきた海洋秩序を前にして、海に囲まれた日本はどう向き合うべきかを考える。

209.5

タ

『知らなかった、ぼくらの戦争』 アーサー・ビナード/小学館

アメリカ出身の詩人アーサー・ビナード氏が、日本人の太平洋戦争体験者たちを訪ね歩き、戦争の実態と、個人が争いから生き延びる知恵を探ります。日本民間放送連盟賞・2016年番組部門[ラジオ報道番組]最優秀賞を受賞した、文化放送「アーサー・ビナード『探しています』」を採録して再構成。

210.7

ビ

『秘蔵カラー写真で味わう 60年前の東京・日本』

J・ウォーリー・ヒギンズ /光文社新書
駐留米軍軍属として来日したヒギンズが、当時としては超贅沢なカラーフィルムでつぶさに記録した「昭和30年代の日本」の風景。半世紀を経て、今なお色褪せない選りすぐりの382枚を、当時の思い出話とともに公開する。

210.7

ヒ

『資本主義と闘った男 宇沢弘文と経済学の世界』

佐々木実/講談社

世界から称賛された気鋭の数理経済学者は、なぜ突然「長い沈黙」に入ったのか。経済学発展に寄与しながら、なぜ経済学を批判するようになったのか。「人々が平和に暮らせる世界」を追求した宇沢弘文の激動の生涯を描く【城山三郎賞(第6回)】

289.1

ウ

【石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞文化貢献部門(第19回)】。

●3類 (社会)

『中国の行動原理 国内潮流が決める国際関係』

益尾知佐子/中公新書 S319.2-マ

『基本的人権の事件簿 第6版』 棟居快行/有斐閣 S23.1-ム

【小論文対策推薦本(法学部)】

『日報隠蔽 南スーダンで自衛隊は何を見たのか』 布施祐仁/集英社 S29.5-フ

【石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞(第18回)】

『経済がわかる論点 50 2020』 みずほ総合研究所/東洋経済新報社 S32.1-ミ

【小論文対策推薦本(経済学部)】

『移民の経済学 雇用、経済成長から治安まで、日本は変わるか』 友原章典/中公新書 S334.4-ト

『ダイエット幻想 やせること、愛されること』

磯野真穂/ちくまプリマー新書 S367.1-イ

『「家族の幸せ」の経済学 データ分析でわかった結婚、出産、子育ての真実』 山口慎太郎/光文社新書 S367.3-ヤ

●4類 (自然科学・医学)

『流れとかたち』 エイドリアン・ベジャン/紀伊國屋書店

樹木、河川、動物の身体構造、社会の階層制、経済、文化…。生物・無生物を問わず、すべてのかたちの進化は「コンストラクタル法則」が支配している。ダーウィン、ドーキンスらに異を唱える熱力学界の鬼才が放つ、革命的理論。同じく「コンストラクタル法則」を武器に、富と資源の流れ、テクノロジーや都市の進化、時間や死の諸相等を見渡しなが、生命と進化にまつく新しい視座を与える。『流れといのち』も一緒に。

401

ベ

401

ベ

『生命倫理への招待 改訂5版』 塩野寛/南山堂

人工授精から人工妊娠中絶、脳死、ターミナル・ケア、インフォームド・コンセント、医療事故まで、医学における生命倫理について、実例をあげながらわかりやすく解説する。

490.1

シ

【小論文対策推薦本(自然系・医療系)】

『病を治す哲学』 青島大明/講談社α新書

人が健康で寿命をまっとうするためにはどのようにあるべきか、哲学の観点から病気を考える書「黄帝内経」。その考えに、著者の気功師としての実践から得た知見を加味し、人が人らしく生き活きと暮らすための知恵を紹介する。

490.9

ア

●7類 (芸術・体育)

『ヤズディの祈り』 林典子 撮影/赤々舎 S748-ハ

2014年8月、ダーシュ(過激派組織IS)の侵略を受けた中東の少数民族・ヤズディ。破壊された村の風景、避難先での暮らし、シガル山の雄姿…。30余組の証言と、現地で共に生活しながら撮り続けた写真を収録する。

【石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞文化貢献部門(第17回)】

●8類 (ことば)

『『広辞苑』をよむ』 今野真二/岩波書店 S813.1-コ

●9類 (文学)

『影裏』 沼田真佑/文春文庫

会社の出向で移り住んだ岩手で、ただひとり心を許した同僚の日浅。いつしか疎遠になった男のもう一つの顔に、「3.11」以後、触れることになるのだが…。

913.6

ヌ

【芥川賞】【文学界新人賞(第122回)】

『危険なビーナス』 東野圭吾/講談社文庫

弟が失踪した。彼の妻・楓は、明るくしたたかで魅力的な女性だった。楓は夫の失踪の原因を探るため、資産家である夫の家族に近づく。兄である伯朗は楓に頼まれ協力するが、時が経てば経つほど彼女に惹かれていき…。

913.6

ヒ

『しゃばけシリーズ』 畠中恵/新潮文庫~続巻入荷しました! 『ひなこまち』『たぶんねこ』『すえずえ』『なりた』『おおあたり』



913.6

ハ

